

2023年 2月 28日

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：ひなたぼっこ美都

施設種類：グループホーム

会議開催日時：2023年 2月

開催場所：文書開催

出席者：

(人数)

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	1人
地域住民の代表	2人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			1人

\* ホームの近況・取り組みについて文書で報告

～新型コロナウイルス対策として

- 介護度他
  - ◎ 美都① 平均介護度 1.88 平均年齢 87.0歳
  - ◎ 美都② 平均介護度 2.55 平均年齢 92.4歳
- 事故報告
  - ◎ 美都① 事故報告 3件（益田市への報告 1件）
  - ◎ 美都② 事故報告 3件
- 入居者状況
  - ◎ 美都① 1名退院  
1名新規入居
  - ◎ 美都② 変わりなし
- 職員
  - ◎ 美都① 常勤職員1名 膝手術の為入院、療養
  - ◎ 美都② 変わりなし
- 研修・取り組み・その他
  - ◎内部研修～勉強会「急変時対応」
- 活動
  - ◎誕生会、ドライブ、散歩、クリスマス会、餅つき、他

\* 出席者の皆様からのご意見・ご要望（文書にて）

・報告書の中の「事故報告」で顔面から転倒され、鼻血による呼吸困難になった件につきましては、市へも報告を頂いております。その後「内部研修・勉強会」で転倒事故の時の鼻からの出血についての対応を確認されたようですね。鼻血の影響で鼻呼吸が困難となり、その後体調変化。急な事ではありましたが、職員による気道確保等の応急処置、救急搬送と迅速に対応されました。

今回の件はなかなか予測できない事態でしたが、今後もまた発生する可能性もあります。次に同様の事が発生した場合には、今回の事例勉強会での対応策が反映されますように、夜勤職員さんも含めて職員間の情報共有をよろしくお願いします。

・内部研修にて「急変時対応」についての勉強会をされたとのこと、起こった事故に対して、すぐに対応策を講じておられるのだな、と思いました。「急変時対応」についての勉強会の講師先生は、どなたに依頼されたのでしょうか？

→職員の中に看護師の資格のある方がいらっしゃいます。その方に事前にお願ひし、資料も用意して頂きました。

・新型コロナウイルスも丸3年を過ぎ、少し落ち着いているようです。5月8日からは5類に移行するようで、どうなるのか心配です。でも、少しずつ日常が戻ってきているように感じています。もう少し気を付けましょう。

・今なおコロナウイルス感染症が終息がなく、施設での感染予防及び、防止に対し多大な労力と精神的なご負担を強いられ、心労如何ばかりかとお察し申し上げます。利用者の方々に対し、仕事とは言えお世話をしておられる職員をはじめ、関係者の皆様には、頭が下がる思いです。内状を知っているだけに、日々のご苦勞には大変な状況だと思い、これかからも皆様のご健康とご健闘を祈っております。

・近隣の住民として、災害発生時に私達が出来る事とは何かを問いかけております。いざ発生した時、私達が手助け出来る事は何かと、問い続けております。また具体的な支援とは？と考えます。特に2階で利用されているの方々には、大変なリスクを伴った避難となると、想像をはるかに越えるものと感じております。実際私達も年を重ねる度に、体力の限界も近くなってきているのは事実です。年を追う毎に、支援の形も変化していく事になるでしょう。残念ながら書面での運営推進会議ばかりなので、意見交換ができない事で、先の見通し不明瞭で仕方ありません。